

令和6年度 西尾市の全国学力・学習状況調査結果について

1 調査実施日

令和6年4月18日（木）

2 児童生徒数

市内小学校・義務教育学校（前期）26校 1,559名

市内中学校・義務教育学校（後期）10校 1,541名

3 教科の状況（全国の平均正答率と比較して）

(1) 小学校6年生の状況

国語	・努力を要する状況である。 ・学習指導要領の内容・領域別では、「我が国の言語文化に関する事項」がおおむねできている。 ・「話すこと・聞くこと」に課題がある。今後は、目的や意図に応じて伝え合う内容を検討し、資料を活用するなどより伝わりやすくするための工夫をして表現する力を伸ばしたい。
算数	・努力を要する状況である。 ・「図形」「変化と関係」に課題がある。今後は、立体（球・立方体）の体積の求め方や単位量当たりの大きさ（速さ）について深く理解し、それらを活用する力を伸ばしたい。

(2) 中学校3年生の状況

国語	・おおむねできている。 ・学習指導要領の内容・領域別では、「我が国の言語文化に関する事項」がよくできており、「言葉の特徴や使い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」もおおむねできている。 ・「読むこと」に課題がある。文章中から必要な情報に着目して読み取り、要約する力を伸ばしたい。
数学	・努力を要する状況である ・学習指導要領の内容・領域別では、「数と式」がおおむねできている。 ・「図形」「データの活用」に課題がある。今後は、図形の性質を基に証明したり、複数のデータ分布の傾向を比較して、読み取ったことを根拠として筋道を立てて説明したりする力を伸ばしたい。

4 質問紙調査の結果（傾向が顕著な項目を抜粋）

(1) 小学校6年生

ア 全国と比較してよい傾向がみられるもの

- ① 人が困っているときは、進んで助ける児童が多い。
- ② 朝食を毎日食べている児童が多い。

イ 全国と比較して気になる傾向がみられるもの

- ① 総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表することに課題がみられる。
- ② 国語の授業内容を十分に理解できていると感じる児童が少ない。

(2) 中学校3年生

ア 全国と比較してよい傾向がみられるもの

- ① いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒が多い。
- ② 毎日、同じくらいの時刻に起きている生徒が多い。

イ 全国と比較して気になる傾向がみられるもの

- ① 総合的な学習の時間で、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表することに課題がみられる。
- ② 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりすることに課題がみられる。

5 調査結果活用に向けた西尾市の取り組み

- 西尾市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持・向上させるための具体的な具体的な指導法の提案や教員の授業力向上のための取組をまとめ、各学校に示していく。
- 各校においては、調査結果から明らかになった自校の課題を分析し、課題解決に向けて主体的・対話的で深い学びの視点からの具体的な授業改善に取り組んでいく。

6 留意点

この調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面である。